

壁付タイプ

880-80301C

格子ユニット(アルミタイプ) 取付説明書

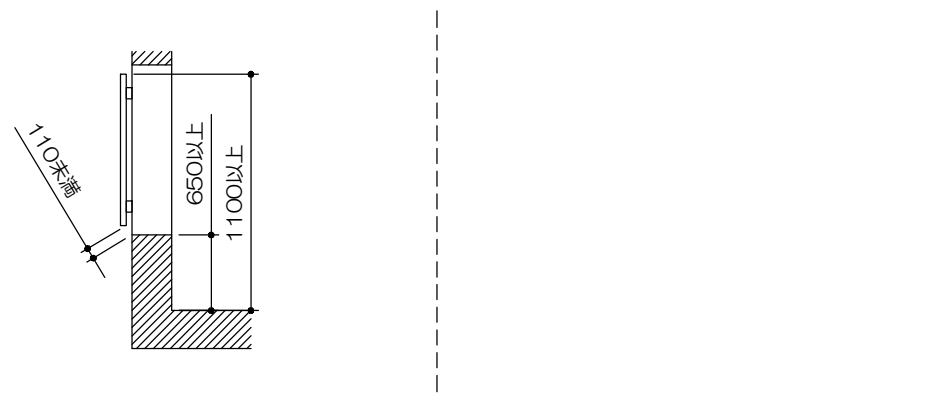
- このたびは、『格子ユニット（アルミタイプ）』をご採用いただきましてありがとうございます。
- 商品の組み立ておよび施工には、この取付説明書をお読みにになり、正しく美しく仕上げてください。

注意

- 木造住宅の3階以下（格子上端9m以下）に設置してください。
 - 設置高さ・すき間寸法に注意して取付けてください。
 - 安全柵としての使用はお止めください。
 - 製品を躯体に取付ける際は、必ず躯体柱などの構造材に取付けてください（柱へのネジ込み深さ：35mm以上）。
- アンカーなどを使用してモルタル部分だけで固定することは絶対しないでください。
 - 組立ネジは使用中緩まないように締付けてください。
 - シーリングは指定箇所に行ってください。
 - 注意ラベルは必ず指定箇所に貼り付けてください。
 - 施主様には、1世帯ごとに取扱説明書を必ずお渡しください。

取付位置について(壁付タイプ)

- 取付場所により、安全のため下記の設置高さ・すき間寸法をお守りください。



部品の確認

◆製品本体			
●本体セット	●胴縁補助	●胴縁キャップ	●サラタッピンネジ φ4×20（ガイド付）
●六角タッピンネジ φ6×75（1種）	●ナベクスネジ φ4×16	●ワッシャー φ6用	●注意ラベル <div>注意 製品にのぼったり、ぶらさがったり、足をかけたりしないでください。</div>
		●スプリングワッシャー φ6用	

組立手順

1 胴縁キャップの取付

本体セットの胴縁両端部に胴縁キャップをサラタッピンネジφ4×20（ガイド付き）で固定してください（図1）。

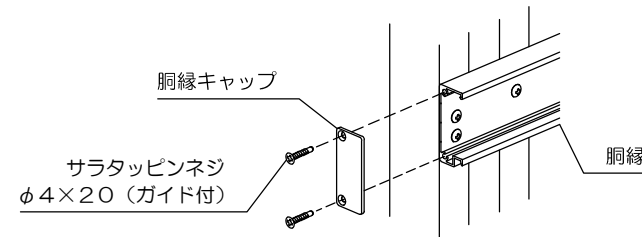


図1. 胴縁キャップの取付

注意

- 本体セットを連結する仕様の場合は、左右両端側の本体セットに胴縁キャップを取付けてください（図2）。

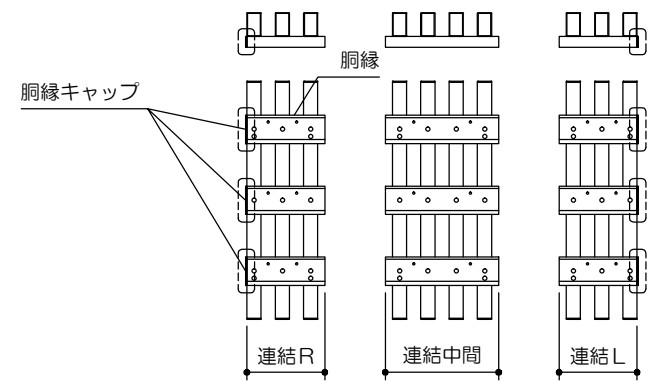


図2. 胴縁キャップの取付(連結仕様)

2 取付位置の墨出し

取付位置に支柱等が入っていることを確認し、胴縁補助を壁にあてがうなどして胴縁補助の取付位置を墨出ししてください（図3）。

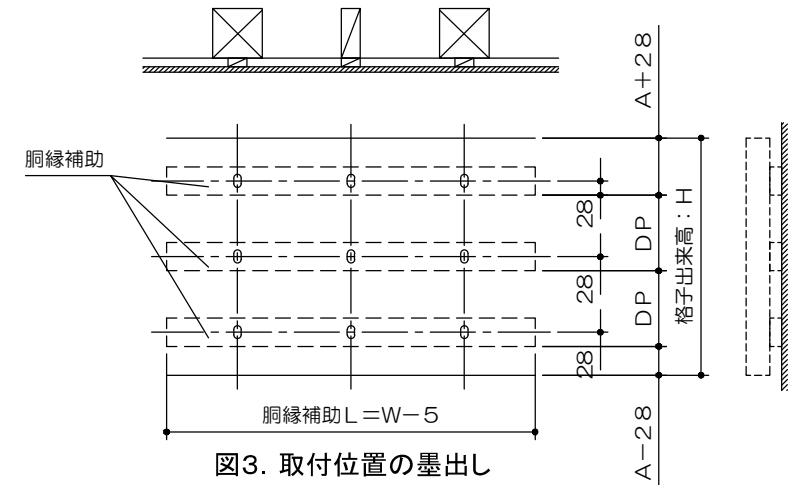
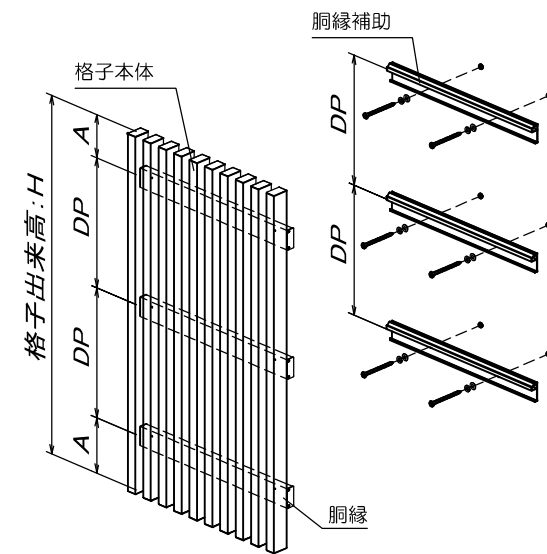
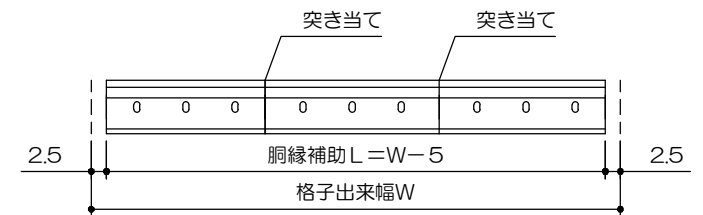


図3. 取付位置の墨出し

注意

- 胴縁補助を連結する仕様の場合は、胴縁補助同士を突き当てて隅出してください。



●胴縁ピッチDP計算式

$$DP = (H - (2 \times A)) \div (N - 1)$$

A : 下表参照

N : 胴縁本数（下表参照）

格子出来高H	A
H≤800	100
H>800	150

格子タイプ	格子出来高H	胴縁本数N
30×50格子	400≤H≤2300	2
	2300<H≤3600	3
30×50格子 (P=80タイプ)	2300<H≤3600	3
50×50格子	400≤H≤2500	2
	2500<H≤3600	3

格子タイプ	格子出来高H	胴縁本数N
100×15格子	400≤H≤1300	2
	1300<H≤2300	3
	2300<H≤3300	4
	3300<H≤3600	5

